

福島県立医科大学 学術機関リポジトリ



Title	外傷学講座(論文・著書・発表等)
Author(s)	
Citation	福島県立医科大学業績集. 2: 378-383
Issue Date	2022-03-22
URL	http://ir.fmu.ac.jp/dspace/handle/123456789/1798
Rights	©2022 福島県立医科大学
DOI	
Text Version	publisher

This document is downloaded at: 2024-04-23T10:12:00Z

平井亨, 畑下智, 菅谷岳広, 須藤洋輔, 川前恵史, 伊藤雅之. 橈骨遠位端骨折に合併した尺骨遠位端骨折が術後機能に与える影響. 第 63 回日本手外科学会学術集会; 20200625-0817; Web. 日本手外科学会雑誌. 37(1):O24-4.

小林一貴, 箱崎道之, 川上亮一, 佐々木信幸, 利木成広, 紺野慎一. MRI で超急性期の画像所見を捉えたと考えられた大腿骨非定型骨折の一例. 第 46 回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web. 骨折. 42(Supplement):S480.

平井亨, 伊藤雅之, 畑下智, 菅谷岳広, 須藤洋輔, 川前恵史. ひまわり法における術後ワイヤー折損と AI pin の位置関係の検討. 第 46 回骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web. 骨折. 42(Supplement):S539.

山田仁, 箱崎道之, 金内洋一, 田地野崇宏, 守岡トシイ, 渡部ほなみ, 三浦浅子, 斎藤慎也, 紺野慎一. さくらの会 10 年のあゆみ—骨・軟部肉腫患者会—. 第 53 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20200911-30; Web. 日本整形外科学会雑誌. 94(6):S1383.

王谷英達, 小林英介, 和佐潤志, 齊藤誠人, 中紀文, 武内章彦, 小林寛, 鬼頭宗久, 森井健司, 安田剛敏, 永野昭仁, 濱田哲矢, 塚本真治, 箱崎道之, 末原義之, 原仁美, 西村俊司, 上田孝文. 転移性孤立性線維性腫瘍の治療成績に関する多施設共同研究—JMOG 研究—. 第 53 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20200911-30; Web. 日本整形外科学会雑誌. 94(6):S1424.

箱崎道之, 山田仁, 金内洋一, 長谷川靖, 山田匠希, 岡佑香, 渡邊一男, 田地野崇宏, 紺野慎一. 進行性骨化性線維異形成症様の骨化を示した大腿骨傍骨性骨肉腫. 第 53 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20200911-30; Web. 日本整形外科学会雑誌. 94(6):S1526.

鈴木丈夫, 箱崎道之, 山田仁, 金内洋一, 紺野慎一. 軟部組織内に再発した骨巨細胞腫に対する術前デノスマブ療法: 1 例報告. 第 53 回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会; 20200911-30; Web. 日本整形外科学会雑誌. 94(6):S1578.

新田夢鷹, 箱崎道之, 青田恵郎, 大橋寛憲, 山岸栄紀, 金内洋一, 山田仁, 紺野慎一. 大腿骨近位部骨肉腫に対して Spherical Periacetabular Osteotomy による股関節包外切除術と人工股関節全置換術を行った 1 例. 第 69 回東日本整形災害外科学会; 20200918-19; 軽井沢町. 東日本整形災害外科学会雑誌. 32(3):480.

箱崎道之. 整形外科とがんロコモ〜転移性骨腫瘍のマネージメント〜. がんフォーラム; 20201009; Web(名古屋).

横田武尊, 山田仁, 箱崎道之, 金内洋一, 長谷川靖, 山田匠希, 岡佑香, 渡邊一男. 心臓軟部肉腫の 1 例. 第 27 回東北地区骨軟部腫瘍研究会; 20201031; Web.

外傷学講座

論 文

〔原 著〕

Takaki M, Takenaka N, Mori K, Harada S, Asahara T, Katoh N, Sakuma H, Saginoya T, Kubota K, Teramoto T, Matsushita T. Comparison of histopathology and preoperative 18F-FDG-PET/CT of osteomyelitis aiming for image guided surgery: A preliminary trial. *Injury*. 202004; 51(4):871-877.

Higashikawa T, Shigemoto K, Goshima K, Horii T, Usuda D, Morita T, Moriyama M, Inujima H, Hangyou M, Usuda K, Morimoto S, Matsumoto T, Takashima S, Kanda T, Okuro M, Sawaguchi T. Mortality and the Risk Factors in Elderly Female Patients With Femoral Neck and Trochanteric Fractures. *Journal of Clinical Medicine Research*. 202010; 12(10):668-673.

Goshima K, Sawaguchi T, Shigemoto K, Iwai S, Fujita K, Yamamuro Y. Open-wedge high tibial osteotomy for spontaneous osteonecrosis of the medial tibial plateau shows excellent clinical outcomes. *Journal of Experimental Orthopaedics*. 202003; 7(1):14.

Sawaguchi T, Takeuchi R, Nakamura R, Yonekura A, Akiyama T, Kerstan M, Goldhahn S. Outcome after treatment of osteoarthritis with open-wedge high-tibial osteotomy with a plate: 2-year results of a Japanese cohort study. *Journal of Orthopaedic Surgery*. 2020; 28(1):2309499019887997.

Tazawa R, Uchida K, Minehara H, Matsuura T, Kawamura T, Sekiguchi H, Muneshige K, Inoue S, Inoue G, Takaso M. Poly(POG)n loaded with recombinant human bone morphogenetic protein-2 accelerates new bone formation in a critical-sized bone defect mouse model. *Journal of Orthopaedic Surgery and Research*. 202010; 15(1):471.

Goshima K, Sawaguchi T, Shigemoto K, Iwai S, Fujita K, Kataoka T. Plate removal without loss of correction after open-wedge high tibial osteotomy is possible when posterior cortex bone union reaches osteotomy gap center even in incompletely filled gaps. *Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc*. 202006; 28(6):1827-1834.

Higashikawa T, Shigemoto K, Goshima K, Usuda D, Okuro M, Moriyama M, Inujima H, Hangyou M, Usuda K, Morimoto S, Matsumoto T, Takashima S, Kanda T, Sawaguchi T. Risk factors for the development of aspiration pneumonia in elderly patients with femoral neck and trochanteric fractures: A retrospective study of a patient cohort. *Medicine*. 202002; 99(7):e19108.

Goshima K, Sawaguchi T, Shigemoto K, Iwai S, Fujita K, Kataoka T, Taninaka A. Factors Associated With Patient Satisfaction After Opening-Wedge High Tibial Osteotomy. *Orthopaedic Journal of Sports Medicine*. 202011; 8(11):2325967120967964.

喜多本裕也, 金井信善, 生田ゆみ, 犬嶋博美, 臼田喜美子, 澤口毅, 重本顕史, 岩井信太郎, 萩行正博. 高齢者大腿骨近位部骨折術後患者における疼痛コントロールの有効性の検討. *Hip Joint*. 202008; 46(2):S34-S37.

加藤成隆, 竹中信之, 松下隆. 【整形外科の外傷治療—現状と課題—】外傷治療システム (外傷センター, レジストリー) の現状と課題 総合南東北病院外傷センターの現状と課題. *関節外科*. 202004; 39(4月増刊):46-51.

岩井信太郎, 澤口毅, 重本顕史, 藤田健司. 高齢者寛骨臼骨折の治療成績. 骨折. 202003; 42(2):456-459.

竹中信之, 高木基行, 浅原智彦, 寺本司, 松下隆, 牧野佳朗. 足関節周囲骨折に対する一時的創外固定骨折治療術(牧野牽引固定法)の有用性. 骨折. 202008; 42(4):1320-1324.

原田将太, 大橋香奈. 【新人ナースが知っておきたいのはコレだけ! 整形外科の手術とケア 1枚ノート 下肢】
足関節・足編 踵骨骨折の整復固定術. 整形外科看護. 202004; 25(4):348-351.

松下隆. カンパニオ 2020 骨粗鬆症撲滅委員会 骨粗鬆症を撲滅したいわけ 骨粗鬆症予防・治療の重要性. 糖尿病ケア. 202002; 17(2):192.

澤口毅. カンパニオ 2020 骨粗鬆症撲滅委員会 骨粗鬆症のメカニズム. 糖尿病ケア. 202004; 17(4):392.

松下隆. 運動器外傷治療のビジョンとミッション. 日本運動器看護学会誌. 202002; 15:004-010.

谷中惇, 澤口毅, 堀井健志, 五嶋謙一, 重本顕史, 岩井信太郎, 石田善浩. 側臥位人工股関節置換術における水準器を用いたカップ設置精度. 日本人工関節学会誌. 202012; 50:295-296.

五嶋謙一, 澤口毅, 堀井健志, 岩井信太郎, 谷中惇. 人工膝関節置換術後に生じた反復性関節血腫の治療経験. 日本人工関節学会誌. 202012; 50:347-348.

原田将太, 寺本司, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆, 西井幸信, 衣笠清人, 大塚和孝. 重度内反型変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術の臨床成績と手術テクニック. 日本足の外科学会雑誌. 202008; 41(1):145-149.

原田将太, 寺本司, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 松下隆, 西井幸信, 衣笠清人, 大塚和孝. 内反型変形性足関節症に対する内側設置型ロッキングプレートを用いた遠位脛骨骨切り術の限界. 日本足の外科学会雑誌. 202008; 41(1):178-182.

西井幸信, 衣笠清人, 寺本司, 竹中信之, 西田一也. 変形性足関節症に対する脛骨遠位斜め骨切り術 (DToo) の治療 術式と適応. 日本足の外科学会雑誌. 202008; 41(1):187-191.

松浦晃正, 河村直, 峰原宏昌. 【インプラント周囲骨折の治療戦略-THA・TKA・骨折後のプレート・髓内釘】
外傷 外傷後の大腿骨インプラント周囲骨折に対する治療. 臨床整形外科. 202009; 55(9):1065-1070.

著 書・訳 書

Takaki M. Teumatic Osteomyelitis. In: Toyama H, Li Y, Hatazawa J, Huang G, Kubota K. PET/CT for Inflammatory Disease Basic Sciences, Typical Case and Review. Singapore: Springer; 202001. p.77-80.

澤口毅 (日本語版編集代表). AO 法骨折治療 第3版. 東京: 医学書院; 202005.

峰原宏昌. 3. 整復, 進入法, 固定手技. In: 田中正, 澤口毅. AO 法骨折治療 第3版. 東京: 医学書院; 202005.

p.106-295.

峰原宏昌. 6.7.1. 膝蓋骨. In: 田中正, 澤口毅. AO 法骨折治療 第3版. 東京: 医学書院; 202005. p.817-839.

峰原宏昌. 6.9. 果部. In: 田中正, 澤口毅. AO 法骨折治療 第3版. 東京: 医学書院; 202005. p.893-960.

研究発表等

〔研究発表〕

Matsushita T. Progress of FFN Japan. 2nd Asia Pacific Regional Expert Meeting on Fragility Fractures; 20201024-25; Web.

Sawaguchi T. Indication of treatment-lower extremity. AO Master course 2020; 20201203-04; Web.

Minehara H. Distal tibia fracture with broken LCP. AO Trauma Online Seminar - Why didn't the fracture heal? (Case-based); 20200704; Web.

松下隆, 加藤成隆, 高木基行, 竹中信之, 小黒賢二, 鮫島康仁. Monteggia 骨折見逃し後の橈骨頭脱臼に対する尺骨延長による治療. 第32回日本肘関節学会学術集会; 20200207-08; 奈良.

加藤成隆. 郡山における骨粗鬆症患者に対する外傷治療の現状. 郡山脆弱性骨折講演会; 20200225; 郡山.

松下隆. Hip fracture 治療のベストプラクティスー世界の動向と日本の目指すところー. 第93回日本整形外科学会学術総会; 20200611-0831; Web.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 骨欠損・偽関節に対するイリザロフ創外固定の基本構築. 第33回日本創外固定・骨延長学会; 20200903-15; Web.

高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 下腿骨幹部骨折に対する創外固定の有用性. 第33回日本創外固定・骨延長学会; 20200903-15; Web.

竹中信之. 創外固定の未来 歴史から考える創外固定の明るい未来. 第33回日本創外固定・骨延長学会; 20200903-15; Web.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 松下隆. 外傷性足関節症を生じた脛骨変形癒合 腓骨を骨切りせず脛骨緩徐変形矯正を行った1例. 第33回日本創外固定・骨延長学会; 20200903-15; Web.

加藤成隆, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 大腿骨転子部骨折に対しOLHS (オブリーク) で固定するとカットアウトしない. 第46回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

加藤成隆, 原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 術中創外固定を用いた脛骨高原骨折の最少侵襲整復手術. 第46回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

高木基行, 原田将太, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 踵骨骨折に対するプレートを用いた骨折整復固定術. 第 46 回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 下肢関節外骨折変形癒合後外傷性膝関節症に対する関節内骨切り術と関節外骨切り術の併用. 第 46 回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

浅原智彦, 原田将太, 高木基行, 加藤成隆, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 開放性踵骨骨折の治療. 第 45 回日本足の外科学会学術集会; 20201126-1213; Web.

原田将太, 高木基行, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 末期内反型変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術が距骨に及ぼす影響の検討. 第 45 回日本足の外科学会学術集会; 20201126-1213; Web.

〔シンポジウム〕

Sawaguchi T. Combined Ring & Acetabular Fracture. On line Asia Pacific Orthopaedic Association Trauma Congress; 20201107-08; Web.

竹中信之. 難治性感染性偽関節の治療は創外固定器を用いた Ilizarov 法だ! 第 33 回日本創外固定・骨延長学会; 20200903-15; Web.

加藤成隆, 山本智章, 重本顕史, 松下隆. FFN-J national hip fracture database の運用報告. 第 46 回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折に対する多職種連携診療と骨折リエゾンサービス. 第 46 回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

松下隆. 脆弱性骨折治療に関する世界の趨勢—日本の現状と目指すべき未来像—. 第 22 回日本骨粗鬆症学会; 20201009-1130; Web.

〔特別講演〕

松下隆. 内固定と創外固定を駆使した難治骨折の治療. 高知県整形外科医会学術講演会; 20200220; 高知.

寺本司. 動物の進化、人間の歩行、脚、足、靴—そして関節外科の将来は? 第 34 回日本靴医学会学術集会; 20200911-1030; Web.

〔その他〕

Sawaguchi T. Osteotomies for avascular necrosis of the hip. Hospial de Italiano symposium(Argentina); 20200506; Web.

Sawaguchi T. Evidence for Full Weight Bearing in Hip Fracture. 2nd Asia Pacific Regional Expert Meeting on

Fragility Fractures; 20201024-25; Web.

Sawaguchi T. Acute Fixation of Fragility Fracture To Allow Immediate Weight Bearing. The 71st Annual Convention of the Philippine Orthopaedic Association; 20201118-20; Web.

寺本司. 固定器としての創外固定器の使い方 創外固定器はプレート固定より強固に固定できる. 第7回黒潮イリザロフ法セミナー; 20200201; 高知.

竹中信之. イリザロフ法の基礎 (緩徐延長矯正の基礎) 疾患別フレームの組み方の心得. 第7回黒潮イリザロフ法セミナー; 20200201; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折に対する多職種連携アプローチ. 第93回日本整形外科学会学術総会; 20200611-0831; Web.

澤口毅. 脆弱性骨盤輪骨折 update. 第93回日本整形外科学会学術総会; 20200611-0831; Web.

澤口毅. 二次骨折予防と骨粗鬆症リエンサーブのあり方—整形外科的視点から— Hip fracture 治療ベストプラクティス 急性期病院の可能性. 第93回日本整形外科学会学術総会; 20200611-0831; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折に対する多職種連携アプローチ. 2020年度宮城県整形外科勤務医会学術講演会; 20200711; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折に対する多職種連携アプローチ. 第20回関西医大整形外科秋季研修会; 20200905; Web.

澤口毅. 高齢者骨盤・寛骨臼骨折. 第46回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

松下隆. Chipping—偽関節治療に骨移植は要らない—. 第46回日本骨折治療学会学術集会; 20200911-1030; Web.

澤口毅. Open Wedge High Tibial Osteotomy における諸問題と成績. 第3回 Knee Surgical Conference; 20201026; Web.

澤口毅. 高齢者大腿骨近位部骨折に対する多職種連携アプローチ. 聖隷横浜病院 OLS オンライン講演会; 20201215; Web.

加藤成隆, 高木基行, 原田将太, 森本麻美, 浅原智彦, 竹中信之, 寺本司, 松下隆. 骨関節感染症の早期診断への取り組み—好中球上 CD64 と PET/CT—. 第43回日本骨・関節感染症学会; 20201225-26; Web.